

# 2023年3月期 決算説明資料

2023年 5月 12日

株式会社クレハ

## I. 2023年3月期 業績

- ・ 概要 (3) ~ (6)
- ・ セグメント別実績 (7) ~ (11)
- ・ 財政状態計算書 (12)
- ・ キャッシュフロー実績 (13)

## II. 2024年3月期 業績予想

- ・ 概要 (15) ~ (18)
- ・ セグメント別予想 (19) ~ (23)
- ・ キャッシュフロー予想 (24)

## III. 重点施策

- ・ PVDF事業 (26)
- ・ PGA事業 (27)
- ・ 株主還元の基本方針 (28)

## IV. 参考資料

- ・ 連結子会社の概要 (30) ~ (31)
- ・ 主要指標 (32) ~ (33)

# I . 2023年3月期 業績

# 2023年3月期 決算の概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2022/3	2023/3	増減	
	実績	実績	金額	率
売上収益	1,683	<b>1,913</b>	229	13.6%
セグメント別営業利益	253	<b>243</b>	-10	-3.9%
調整	1	-2	-2	
その他の収益	12	12	-1	
その他の費用	65	30	-35	
営業利益	201	<b>224</b>	22	11.0%
金融収益	5	9	3	
金融費用	3	2	-0	
税引前利益	204	<b>230</b>	26	12.7%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	142	<b>169</b>	27	19.1%
1株当たり当期利益(円)	725.73	<b>864.30</b>		
原油(\$/bbl)	79	96		
為替レート (円/\$)	112.4	135.5		
(円/€)	130.6	141.0		
(円/元)	17.5	19.8		

## <前期比での主な差異要因>

### 〔売上収益〕

建設関連が減収となるも、機能製品、化学製品、樹脂製品、その他関連が増収となり、合わせて増収。

### 〔セグメント別営業利益〕

樹脂製品の原燃料高騰の影響等により、減益。

### 〔営業利益〕

減損損失が53億円から21億円となり、増益。

### 〔税引前利益〕

営業利益の増加により、増益。

### 〔親会社当期利益〕

税引前利益の増加により、増益。

**KUREHA**

# 2023年3月期 決算の概要 (2)

## セグメント別 売上収益・営業利益

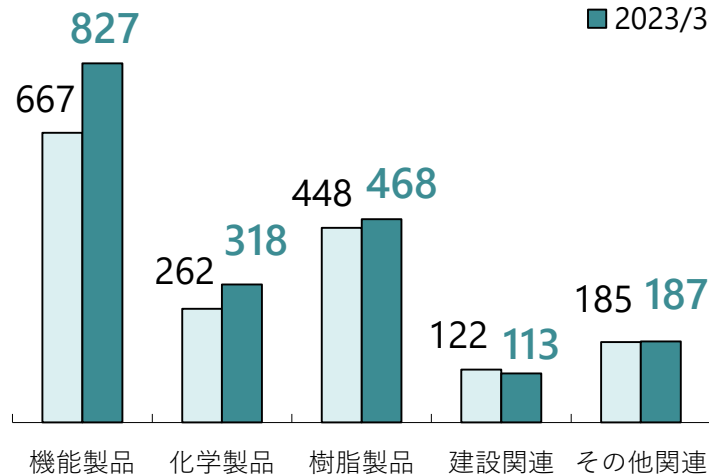
(単位：億円)

	2022/3 実績			2023/3 実績		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
<b>売上収益</b>	<b>791</b>	<b>893</b>	<b>1,683</b>	<b>1,018</b>	<b>895</b>	<b>1,913</b>
機能製品	288	379	667	473	354	827
化学製品	128	134	262	175	143	318
樹脂製品	229	218	448	238	230	468
建設関連	55	67	122	42	71	113
その他関連	90	95	185	89	98	187
<b>セグメント別営業利益</b>	<b>111</b>	<b>142</b>	<b>253</b>	<b>166</b>	<b>77</b>	<b>243</b>
機能製品	26	74	100	90	11	101
化学製品	12	3	14	16	2	18
樹脂製品	51	47	99	43	43	86
建設関連	4	6	10	3	6	9
その他関連	18	13	31	14	14	28
調整	0	1	1	-0	-1	-2
その他の収益	5	8	12	5	6	12
その他の費用	2	62	65	4	26	30
<b>営業利益</b>	<b>114</b>	<b>88</b>	<b>201</b>	<b>167</b>	<b>56</b>	<b>224</b>

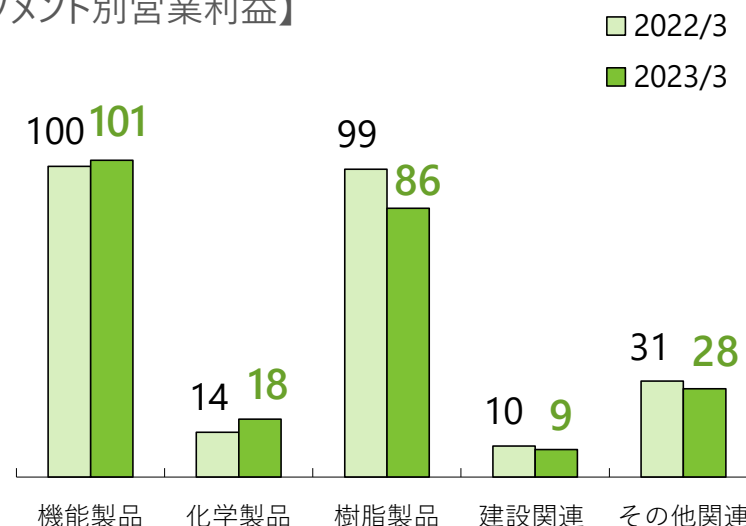
## <セグメント別 前期比較>

(単位：億円)

【売上収益】



【セグメント別営業利益】



## <セグメント別営業利益の主な増減要因>

- 〔機能製品〕 PVDF、炭素製品などの売上が拡大し、増益。
- 〔化学製品〕 医薬品の売上は減少するも、農薬、工業薬品が増加し、あわせて増益。
- 〔樹脂製品〕 業務用包材が増収となるも、家庭用品の減収および原燃料高騰等があり、あわせて減益。
- 〔建設関連〕 民間工事の減少により、減益。
- 〔その他関連〕 環境事業・病院事業の売上は前期並みとなるも、運送事業は減収となり、あわせて減益。

# 2023年3月期 決算の概要 (4)

## <その他の収益・費用/金融収益・費用>

(単位：億円)

	2022/3	2023/3
セグメント別営業利益	253	243
調整	1	-2
その他の収益	<b>12</b>	<b>12</b>
その他の費用	※1 <b>65</b>	※2 <b>30</b>
営業利益	201	224
金融収益	<b>5</b>	<b>9</b>
金融費用	<b>3</b>	<b>2</b>
税引前利益	204	230

※1 2022/3 その他の費用  
PGA減損損失 53億円  
退職給付制度改定損 3億円

※2 2023/3 その他の費用  
業務用包材  
熱収縮多層フィルム減損 21億円

業務用食品包装材分野における熱収縮多層フィルムの製造設備について、欧州およびオーストラリアでの競合他社との競争激化等による市場環境の変化により、関連する固定資産を回収可能価額まで減額。

# 【機能製品】 セグメント別 連結業績

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2022年	2023年	増減	
	3月期 実績	3月期 実績	金額	率
機能樹脂	478	<b>630</b>	152	32%
炭素製品	59	<b>69</b>	10	18%
その他	130	<b>127</b>	-3	-2%
<b>売上収益</b>	<b>667</b>	<b>827</b>	160	24%
<b>営業利益</b>	<b>100</b>	<b>101</b>	2	2%

## <前期比> 増収・増益

### 機能樹脂

LiBバインダー向けのPVDF、PPS樹脂、シェールオイル・ガス掘削用途向けのPGA樹脂加工品等の売上は増加するも、原燃料価格高騰や当年度のPGA樹脂生産を中止している影響があり、増収・減益。

### 炭素製品

高温炉用断熱材および自動車部品用摺動材向けの炭素繊維の売上が増加し、増収・増益。



# 【化学製品】 セグメント別 連結業績

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2022年	2023年	増減	
	3月期 実績	3月期 実績	金額	率
農薬	71	<b>93</b>	23	32%
医薬品	42	<b>38</b>	-4	-9%
工業薬品	74	<b>99</b>	25	33%
その他	75	<b>87</b>	13	17%
<b>売上収益</b>	262	<b>318</b>	56	22%
<b>営業利益</b>	14	<b>18</b>	4	29%

## <前期比> 増収・増益

### 農薬

農業・園芸用殺菌剤の売上は増加するも、原燃料価格の高騰や次世代農薬の研究開発費増加などがあり、減益。

### 医薬品

国内薬価改定により、減収・減益。

### 工業薬品

無機・有機薬品の売上が増加し、前期の営業損失から営業利益に。

**KUREHA**

# 【樹脂製品】 セグメント別 連結業績

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 実績	増減	
			金額	率
家庭用品	232	<b>225</b>	-7	-3%
釣糸	46	<b>47</b>	2	4%
業務用包材	130	<b>153</b>	23	18%
その他	40	<b>42</b>	2	5%
<b>売上収益</b>	<b>448</b>	<b>468</b>	20	5%
<b>営業利益</b>	<b>99</b>	<b>86</b>	-13	-13%

## <前期比> 増収・減益

### 家庭用品・釣糸

家庭用ラップの売上が減少したこと、および原燃料高騰等の影響により、減収・減益。

### 業務用包材

熱収縮多層フィルムおよび塩化ビニリデンフィルムの売上が増加し、増収・増益。

**KUREHA**

# 【建設関連】 セグメント別 連結業績

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 実績	増減 金額	率
建設関連事業	202	210	8	4%
連結売上消去	-80	-97	-17	-
<b>売上収益</b>	122	113	-9	-7%
<b>営業利益</b>	10	9	-1	-11%

## <前期比> 減収・減益

民間工事の減少により、減収・減益。

# 【その他関連】 セグメント別 連結業績

(単位：億円)

	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 実績	増減	
			金額	率
環境事業	134	<b>136</b>	2	1%
運送事業	82	<b>80</b>	-2	-2%
病院事業	41	<b>42</b>	1	3%
その他	23	<b>23</b>	-0	-0%
連結売上消去	-95	<b>-94</b>	0	-
<b>売上収益</b>	185	<b>187</b>	1	1%
<b>営業利益</b>	31	<b>28</b>	-2	-8%

## <前期比> 増収・減益

環境事業は売上収益が前期並みとなるも、減益。

運送事業は減収・減益。

病院事業は売上収益が前期並みとなるも、営業損失増加。

# 財政状態計算書

株式会社クレハ

資産	2022年		増減
	3月末	2023年 3月末	
現金・現金同等物	306	322	16
営業・その他債権	358	319	-40
棚卸資産	417	520	103
その他流動資産	43	49	7
<b>流動資産計</b>	<b>1,124</b>	<b>1,210</b>	<b>86</b>
有形固定資産	1,144	1,174	30
無形固定資産	40	45	4
投資等	517	535	18
<b>非流動資産計</b>	<b>1,702</b>	<b>1,754</b>	<b>52</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,826</b>	<b>2,964</b>	<b>138</b>

負債及び資本	2022年		増減
	3月末	2023年 3月末	
営業・その他債務	295	277	-18
有利子負債	285	263	-22
引当金	82	85	3
その他負債	157	172	15
<b>負債計</b>	<b>819</b>	<b>796</b>	<b>-23</b>
資本金	182	182	-
資本剰余金	147	147	-
自己株式	-87	-87	-0
利益剰余金	1,660	1,790	130
その他の資本	90	121	30
非支配株主持分	15	16	1
<b>資本計</b>	<b>2,007</b>	<b>2,168</b>	<b>160</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>2,826</b>	<b>2,964</b>	<b>138</b>

(単位：億円)

**KUREHA**

# キャッシュフロー実績

株式会社クレハ

(単位:億円)

	2022年 3月期	2023年 3月期	増減
税引前当期利益	204	230	26
減価償却費および償却費	116	116	1
その他	△34	△119	△85
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>286</b>	<b>227</b>	<b>△58</b>
<b>投資キャッシュフロー</b>	<b>△110</b>	<b>△111</b>	<b>△1</b>
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>176</b>	<b>116</b>	<b>△59</b>
<b>財務キャッシュフロー</b>	<b>△61</b>	<b>△105</b>	<b>△44</b>
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	13	4	△9
現金及び現金同等物の増減額	128	16	△112
現金及び現金同等物の期首残高	178	306	128
現金及び現金同等物の期末残高	306	322	16

**KUREHA**

## II. 2024年3月期 業績予想

# 2024年3月期 業績予想 概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2023/3	2024/3		増減 金額	増減 率
	実績	上期	下期		
売上収益	1,913	960	940	1,900	-13 -0.7%
セグメント別営業利益	243	80	140	220	-23 -9.5%
調整	-2	-	-	-	2
その他の収益	12	3	2	5	-7
その他の費用	30	3	2	5	-25
営業利益	224	80	140	220	-4 -1.6%
金融収益	9	3	3	6	-3
金融費用	2	3	3	6	4
税引前利益	230	80	140	220	-10 -4.3%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	169	53	102	155	-14 -8.1%
1株当たり当期利益(円)	864.30			819.35	
原油(\$/bbl)	96			85	
為替レート (円/\$)	135.5			135.0	
(円/€)	141.0			140.0	
(円/元)	19.8			19.0	

## < 前期比での主な差異要因 >

### 〔売上収益〕

PGA、PPS、農薬、工業薬品などが増収となるも、PVDFが原料価格下落に連動して減収となるため、あわせて前期並み。

### 〔セグメント別営業利益〕

PGAの採算改善により機能製品は増益となるも、経費、研究開発費の増加などにより機能製品以外のセグメントが減益となり、あわせて減益。

### 〔営業利益〕

前期の減損がなくなるも、セグメント別営業利益の減少により、あわせて減益。

### 〔親会社当期利益〕

営業利益の減少により、減益。

**KUREHA**



# 2024年3月期 業績予想 概要 (2)

株式会社クレハ

## セグメント別 売上収益・営業利益

(単位：億円)

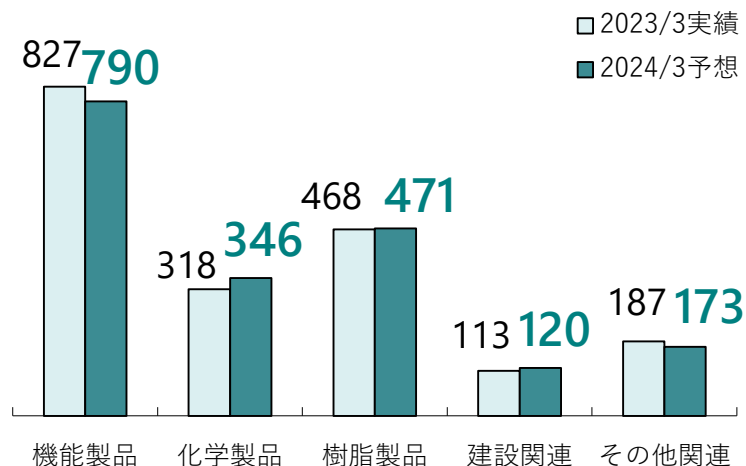
	2023/3 実績			2024/3 予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
<b>売上収益</b>	<b>1,018</b>	<b>895</b>	<b>1,913</b>	<b>960</b>	<b>940</b>	<b>1,900</b>
機能製品	473	354	827	390	400	790
化学製品	175	143	318	190	156	346
樹脂製品	238	230	468	238	233	471
建設関連	42	71	113	60	60	120
その他関連	89	98	187	82	91	173
<b>セグメント別営業利益</b>	<b>166</b>	<b>77</b>	<b>243</b>	<b>80</b>	<b>140</b>	<b>220</b>
機能製品	90	11	101	26	104	130
化学製品	16	2	18	15	-3	12
樹脂製品	43	43	86	30	26	56
建設関連	3	6	9	2	3	5
その他関連	14	14	28	7	10	17
調整	-0	-1	-2			-
その他の収益	5	6	12	3	2	5
その他の費用	4	26	30	3	2	5
<b>営業利益</b>	<b>167</b>	<b>56</b>	<b>224</b>	<b>80</b>	<b>140</b>	<b>220</b>

**KUREHA**

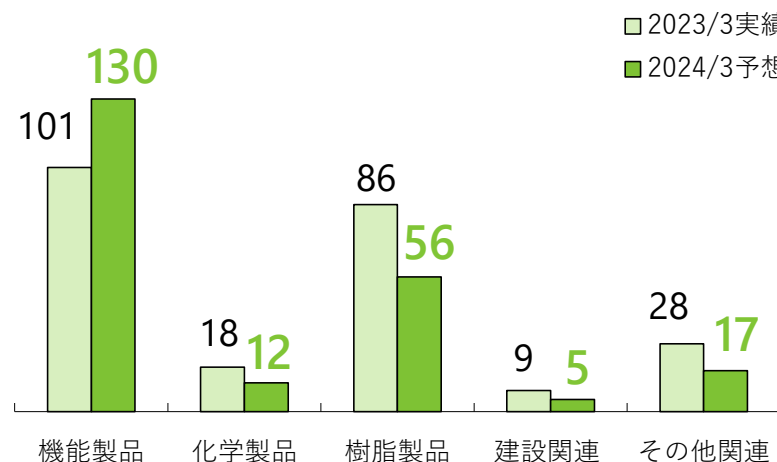
## <セグメント別 前期比較>

(単位：億円)

【売上収益】



【セグメント別営業利益】

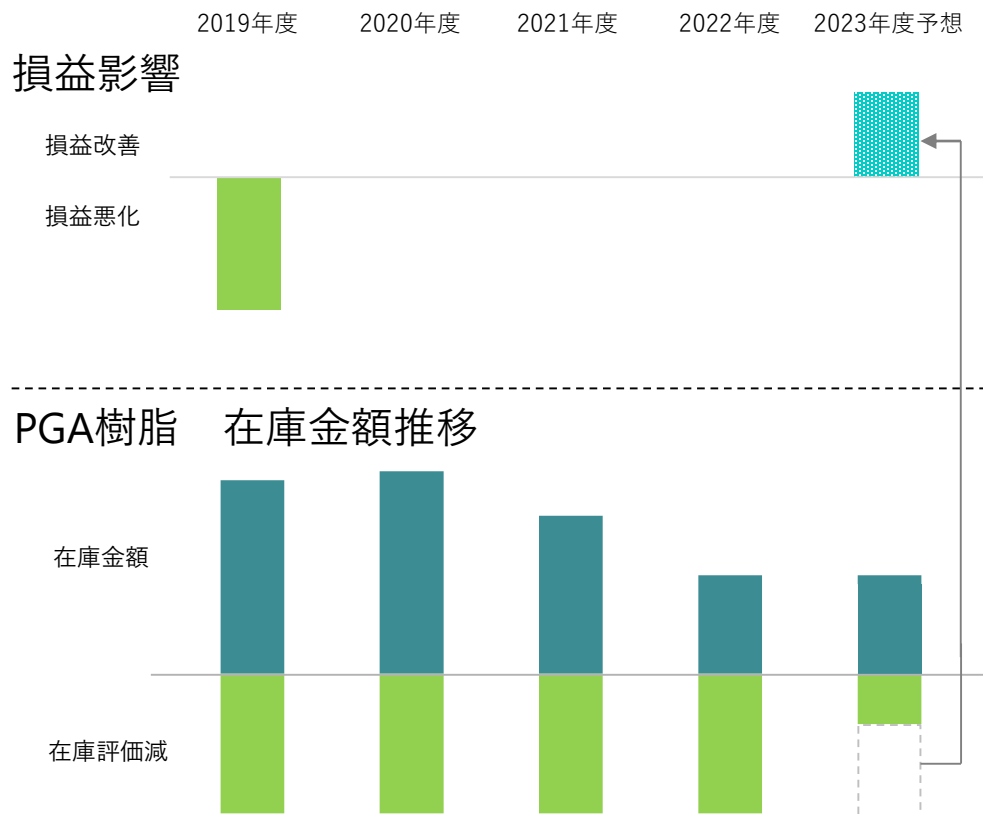


## <セグメント別営業利益の主な変動ポイント>

- 〔機能製品〕 PVDFが売価下落による減収と原材料が高い時期に生産した製品の払い出しによる損益悪化があるも、PGAの在庫評価減の減少による損益改善があり、あわせて増益。
- 〔化学製品〕 原燃料高騰の価格転嫁を進めるも、農薬の開発費増加、医薬品の薬価改定等により、減益。
- 〔樹脂製品〕 家庭用品の販売減少と経費増加、業務用包材の原燃料高騰等により、減益。
- 〔建設関連〕 競争激化や資材の高騰により、減益。
- 〔その他関連〕 低濃度PCB処理の減少により、減益。

## PGA樹脂在庫評価の見直し

在庫の適正化に向けて、複数年にわたり生産を見合わせた結果、PGA樹脂の在庫が減少。2019年度に評価減を計上した長期滞留と識別されていた在庫が、長期滞留と識別されなくなることにより、評価減が減少する見込み。



# 【機能製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2023年 3月期 実績	2024年 3月期 予想	増減 金額	増減 率
機能樹脂	630	575	-55	-9%
炭素製品	69	75	6	8%
その他	127	140	13	10%
<b>売上収益</b>	<b>827</b>	<b>790</b>	<b>-37</b>	<b>-4%</b>
<b>営業利益</b>	<b>101</b>	<b>130</b>	<b>29</b>	<b>28%</b>

## <前期比> 減収・増益

### 機能樹脂

PVDFは原料価格の下落に伴い売上が減少するものの、PGAの採算改善により、減収・増益。

### 炭素製品

半導体産業向けの好調が継続するも経費増などにより、増収・減益。

### その他

グループ会社の機能樹脂加工品が増収となるも、経費や研究開発費増などにより、増収・減益。

# 【化学製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2023年 3月期 実績	2024年 3月期 予想	増減 金額	増減 率
農薬	93	104	11	12%
医薬品	38	41	3	7%
工業薬品	99	113	14	14%
その他	87	88	1	1%
<b>売上収益</b>	<b>318</b>	<b>346</b>	<b>28</b>	<b>9%</b>
<b>営業利益</b>	<b>18</b>	<b>12</b>	<b>-6</b>	<b>-35%</b>

## <前期比> 増収・減益

### 農薬

農業・園芸用殺菌剤は売上が拡大するも、研究開発費の増加があり、増収・減益。

### 医薬品

国内薬価改定があるも国内外での拡販に取り組み、増収。経費増加等により、減益。

### 工業薬品

原燃料高騰の価格転嫁により増収となるも、利益横ばい。

# 【樹脂製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2023年 3月期 実績	2024年 3月期 予想	増減	
			金額	率
家庭用品	225	217	-8	-4%
釣糸	47	51	4	7%
業務用包材	153	164	11	7%
その他	42	39	-3	-7%
<b>売上収益</b>	<b>468</b>	<b>471</b>	<b>3</b>	<b>1%</b>
<b>営業利益</b>	<b>86</b>	<b>56</b>	<b>-30</b>	<b>-35%</b>

## <前期比> 増収・減益

### 家庭用品・釣糸

家庭用品は前年度下期からの値上げが通年寄与するも、コロナ禍収束による市場縮小と経費増により、減収・減益。釣糸は国内での増収を見込むも、経費増等により減益。

### 業務用包材

熱収縮多層フィルムは欧州の売上が増加するも原燃料高騰等があり減益。塩化ビニリデンフィルムは東南アジア向けの売上が縮小、経費の増加もあり減益。

# 【建設関連】 セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2023年 3月期 実績	2024年 3月期 予想	増減 金額	増減 率
建設関連事業	210	205	-5	-3%
連結売上消去	-97	-85	12	-
<b>売上収益</b>	<b>113</b>	<b>120</b>	<b>7</b>	<b>6%</b>
<b>営業利益</b>	<b>9</b>	<b>5</b>	<b>-4</b>	<b>-43%</b>

## <前期比> 増収・減益

公共土木や民間建築工事の伸長を見込むが、競争激化や資材の高騰により減益。

# 【その他関連】 セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2023年 3月期 実績	2024年 3月期 予想	増減 金額	増減 率
環境事業	136	129	-7	-5%
運送事業	80	63	-17	-21%
病院事業	42	45	3	7%
その他	23	22	-1	-5%
連結売上消去	-94	-86	8	-
<b>売上収益</b>	<b>187</b>	<b>173</b>	<b>-14</b>	<b>-7%</b>
<b>営業利益</b>	<b>28</b>	<b>17</b>	<b>-11</b>	<b>-39%</b>

## <前期比> 減収・減益

環境事業は、低濃度PCBの大口案件終了と燃料高騰、経費増により、減収・減益。

運送事業は、減収・減益。

病院事業は増収、営業損失から営業利益に。



# キャッシュフロー予想

株式会社クレハ

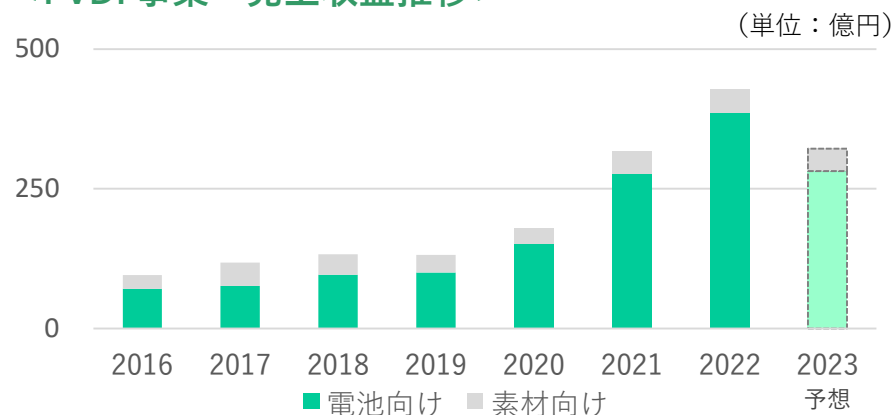
(単位:億円)

	2023年 3月期 実績	2024年 3月期 予想	増減
税引前当期利益	230	220	△10
減価償却費および償却費	116	126	10
その他	△119	△98	21
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>227</b>	<b>248</b>	<b>20</b>
<b>投資キャッシュフロー</b>	<b>△111</b>	<b>△214</b>	<b>△103</b>
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>116</b>	<b>33</b>	<b>△83</b>
<b>財務キャッシュフロー</b>	<b>△105</b>	<b>24</b>	<b>129</b>
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	4	0	△3
現金及び現金同等物の増減額	16	58	42
現金及び現金同等物の期首残高	306	322	16
現金及び現金同等物の期末残高	322	380	58

**KUREHA**

## III. 重点施策

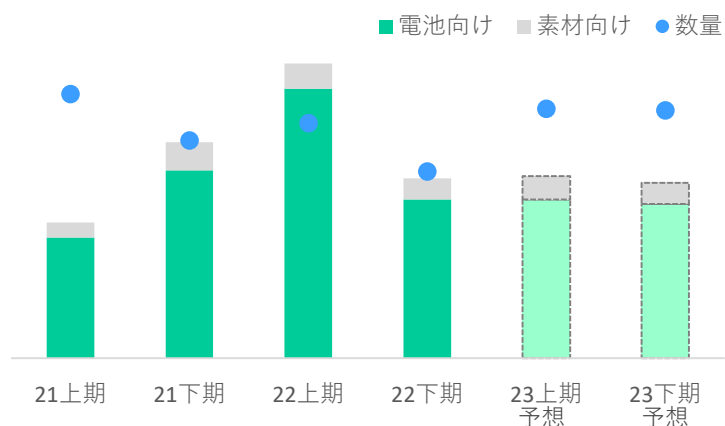
## <PVDF事業 売上収益推移>



2022年度のLiB市場は電動車の伸びに伴い拡大。地域別では中国、タイプ別ではLFPの伸長が顕著。伸び率は鈍化していくものの、今後も市場全体は堅調な推移が見込まれる。

クレハは、三元系車載用LiB正極材用バインダー市場でシェア40%以上を維持するも、顧客の在庫調整があり、前年度比数量微減。2022年度下半期の原材料価格は、2022年度上半期までの高騰から反転し大きく下落。主要顧客との取り決めによりPVDFの製品価格も低下し、下期は売上大幅減。

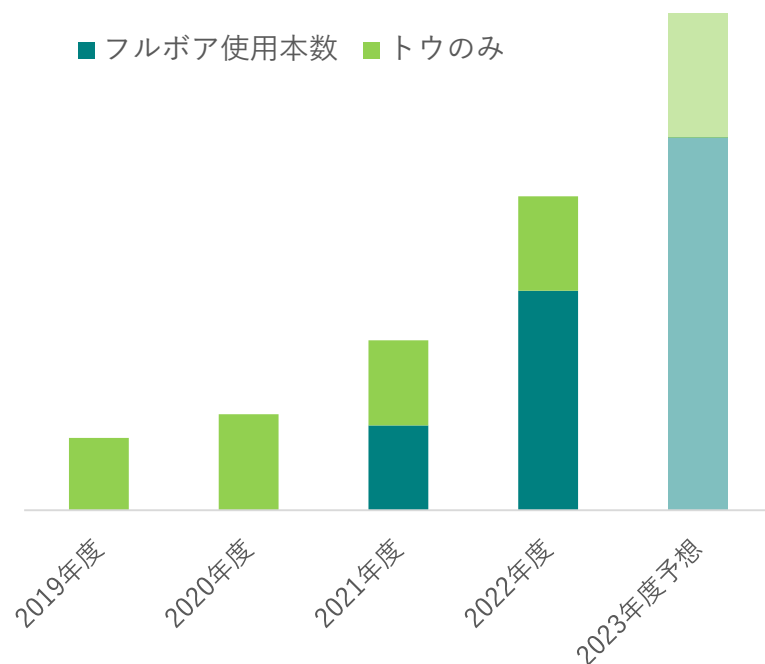
## <2021~2023年度半期別売上収益>



2023年度は市場の拡大に伴い出荷数量増加。原材料価格の高い時期に生産した在庫が上期中に一掃することで利益率は回復傾向となるが、年間では減収・減益となる見込み。

中国での能力増強計画に遅れ。バックアップ策としていわき事業所の能力増強を検討、蓄電池生産に関する国の補助金の認定を受ける。

## PGAプラグ販売推移 本数ベース



## 市場環境

米国の原油の生産量はコロナ禍以前の90%以上の水準まで戻り、ガスの生産量は既にコロナ禍以前の水準を超過。

原油・ガスの生産量は、安定した経済成長による需要増をベースにして緩やかに増加する傾向が続くと推定。

## 販売

2022年度は、中高温鉬区でのフルボア用途（油井全体での一括採用）の訴求が進み、プラグ販売数量は堅調に増加。

引き続きフルボア用途の訴求に加え、ショート化プラグおよび低温・超低温鉬区向けのPGAプラグの販売開始により、更なる数量増を狙う。

## 事業コスト

10%超 削減

（主なコスト削減項目）

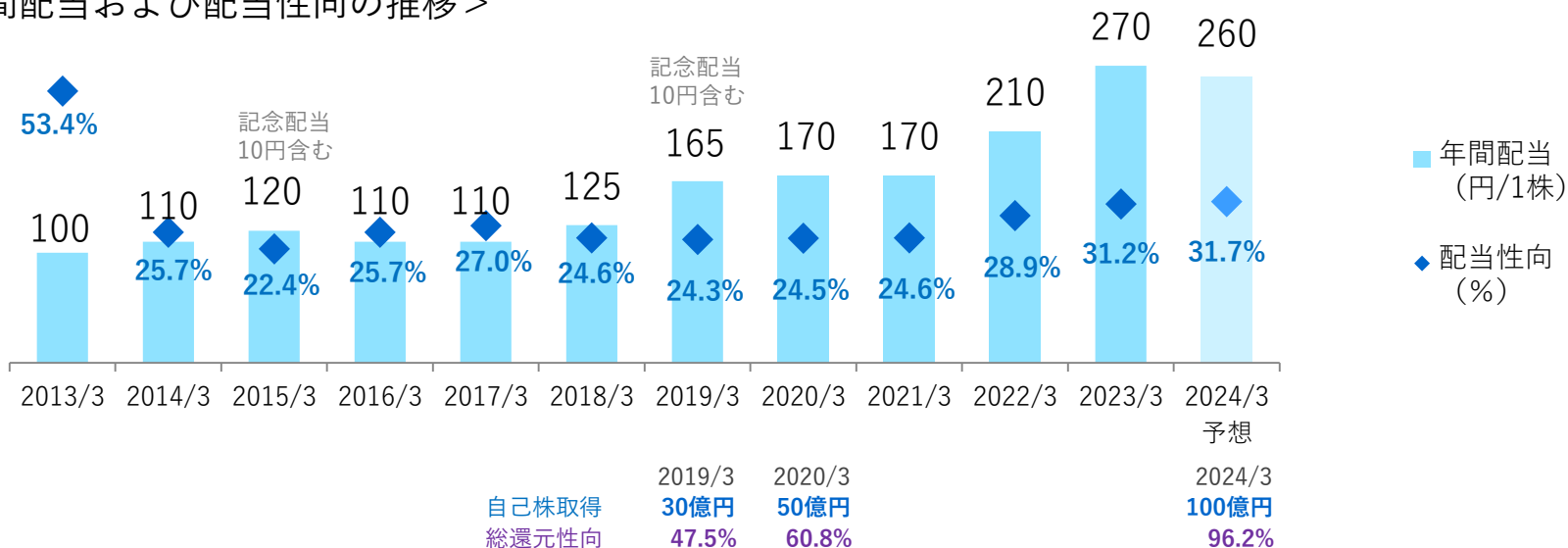
労務費を中心に製造固定費を削減

新グレード開発進展により研究開発費削減

## ■ 株主還元

利益の配分については、将来の事業展開に向けた積極投資に資する内部留保を充実させつつ、安定的な配当を基本方針とし、**目標配当性向を30%以上**とします。加えて、自己株式の取得による**総還元性向50%以上**を目標とし、**2023年度中に100億円程度**（2023年5月12日取締役会決定）、**2025年度末までの3年間累計で200億円程度の自己株式の取得**を行い、株主の期待に応えます。

### <年間配当および配当性向の推移>



2016年10月1日付で普通株式を10株から1株に併合したため、それ以前のは換算して表示しております。  
 2016年3月期までは日本会計基準、2017年3月期からはIFRSです。  
 2019年3月期に30億円、2020年3月期に50億円の自己株式の取得を実施しております。

## IV. 参考資料

# 連結対象会社の概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

		22年3月期		23年3月期		増減	
		売上収益	総資産	売上収益	総資産	売上収益	総資産
(株)クレハ		896	2,111	1,082	2,239	186	128
(株)クレハトレーディング・グループ		263	147	276	151	13	4
機能製品	(株)クレハ	416		552		135	
	(株)クレハトレーディング・グループ	148		142		-6	
	クレハエクストロン(株)	34	42	41	44	7	2
	Kureha Europe・グループ	23	13	35	26	11	13
	Kureha America Inc.・グループ	83	340	121	388	38	48
	呉羽（上海）炭繊維材料有限公司	18	16	22	21	4	4
	呉羽（中国）投資有限公司・グループ	173	302	268	292	95	-11
	連結調整	-229		-353			
	計	667		827		160	
化学製品	(株)クレハ	209		260		50	
	(株)クレハトレーディング・グループ	83		99		16	
	連結調整	-31		-41			
	計	262		318		56	
樹脂製品	(株)クレハ	270		271		1	
	(株)クレハトレーディング	31		36		4	
	クレハ合繊(株)	59	72	59	69	1	-2
	呉羽（中国）投資有限公司・グループ	5		6		1	
	Kureha America Inc.・グループ	24	18	26	23	2	5
	Kureha Europe・グループ	83	71	94	56	11	-15
	Kureha Vietnam Co.,Ltd.	40	47	49	46	9	-1
	連結調整	-64		-73			
計	448		468		20		



# 連結対象会社の概要 (2)

(単位：億円)

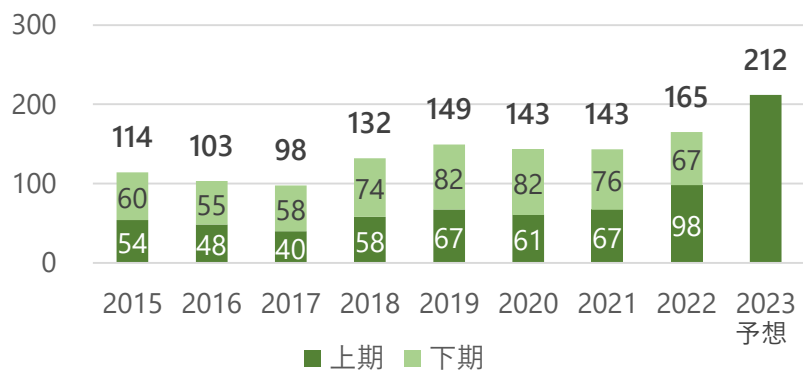
		22年3月期		23年3月期		増減	
		売上収益	総資産	売上収益	総資産	売上収益	総資産
建設関係	クレハ建設(株)・グループ	162	118	173	129	11	12
	クレハサービス(株)・グループ	40	28	37	18	-3	-10
	連結調整	-80		-97			
	計	122		113		-9	
その他	(株)クレハ環境・グループ	122	299	122	300	1	1
	クレハ運輸(株)・グループ	82	56	80	53	-2	-3
	(株)クレハトレーディング	0		0		0	
	クレハサービス(株)・グループ	35	41	36	40	1	0
	社団医療法人呉羽会	41	39	42	41	1	2
	連結調整	-95		-95			
計	185		187		1		
連 結 合 計		1,683	2,826	1,913	2,964	229	138
(連結対象子会社数)		(28)		(28)			
(持分法適用会社数)		(2)		(1)			

(2023年3月31日現在)



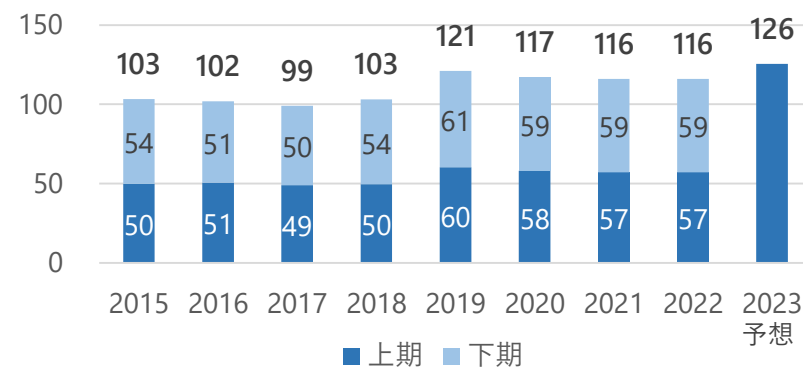
# 主要指標 (1)

設備投資

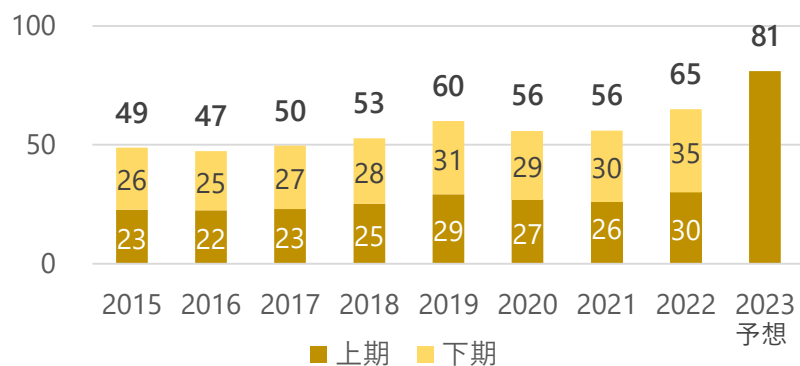


減価償却費

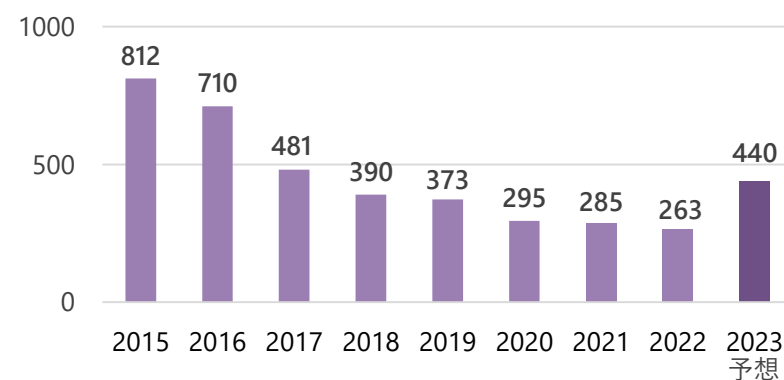
(単位：億円)



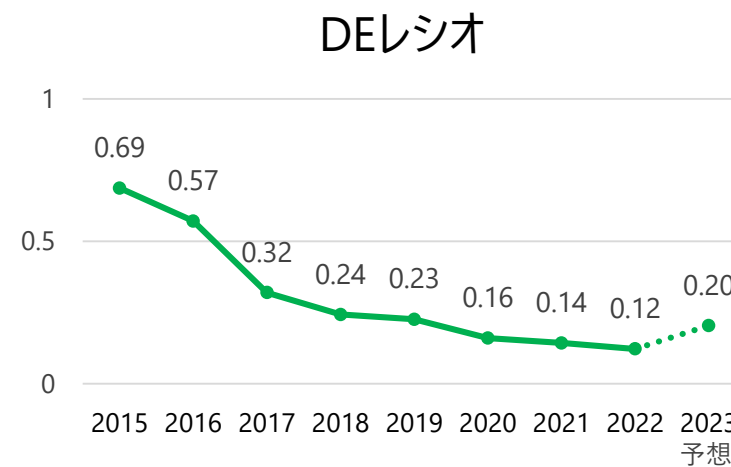
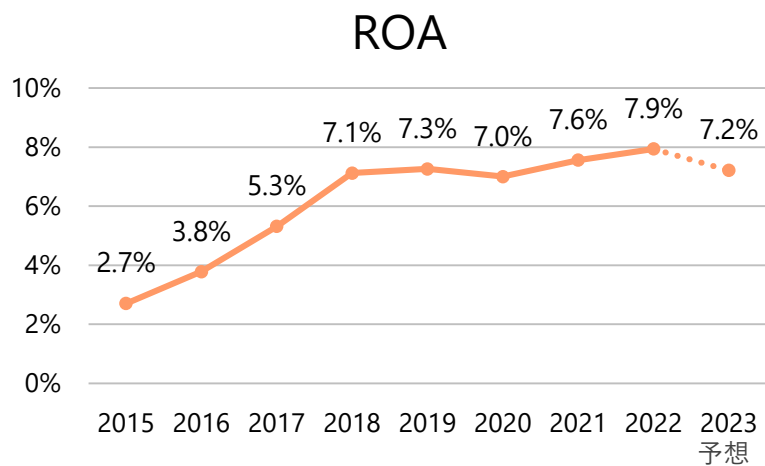
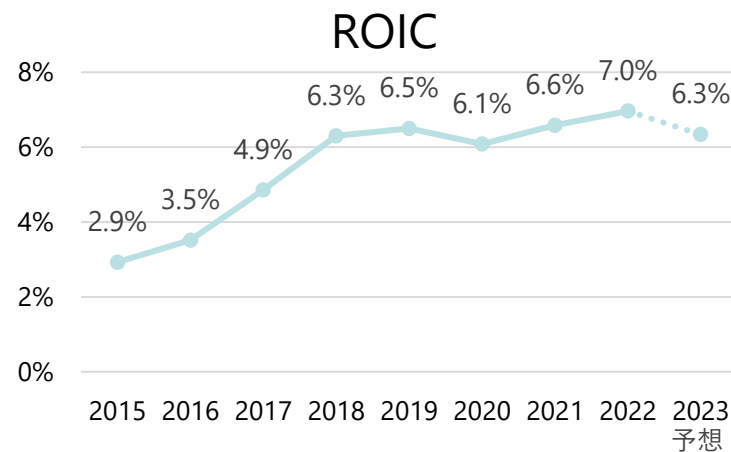
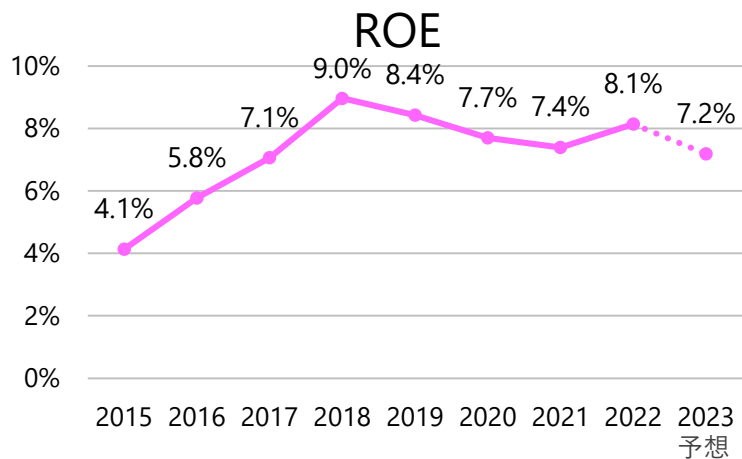
研究開発費



有利子負債



# 主要指標 (2)



- 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。